

- 学習指導上の留意事項
- 学習指導の展開事例

⑤ 配布先 盲・聾・養護学校、その他関係機関

## 5 研究指定校

### (1) 心身障害児理解推進（文部省指定）

- 学校名 喜多方市立入田付小学校  
(発表：昭和59年10月25日)  
富岡町立富岡第二中学校  
(発表：昭和59年10月30日)
- 指定期間 昭和58年度～昭和59年度
- 研究内容 「小学校及び中学校の児童生徒に、心身障害児に対する正しい理解と認識を深めさせるための指導のあり方についての研究」

### (2) 心身障害児適正就学推進研究校（文部省指定）

- 学校名 福島市立福島養護学校
- 指定期間 昭和59年度
- 研究内容 「新たに入学することとなる心身障害児及びその保護者を対象とする体験入学の在り方に関する研究」

### (3) 重度・重複障害教育研究指定校（県教育委員会指定）

- 学校名 県立大笹生養護学校  
県立須賀川養護学校
- 指定期間 昭和59年度～昭和60年度
- 研究内容 「重度・重複障害教育に関する教育課程の編成及び学習指導の方法等に関する研究」

## 6 生徒指導・進路指導

### (1) 生徒指導

心身に障害をもつ児童生徒の指導は、健全児と共通する一般性を基礎とし、障害による特性を十分に考慮して進めなければならない。しかし、障害の種類、程度は、極めて多様であるので、指導に当たっては、児童生徒一人一人の障害の状態、能力、特性等を十分把握し、その実態に応じた指導目標を明確にし、次の点を特に重視して実践に努めるよう指導した。

- ① 学校の指導方針を明確にし、教職員の共通理解に立って指導を進めるとともに、家庭、施設、病院等との緊密な連携を図り、一貫した指導体制の確立に努める。
- ② 児童生徒の可能性の発見に努め、可能な限り社会的自立ができるよう教育活動全体を通じて、身辺処理、基本的生活習慣の確立に努める。
- ③ 特別活動等を中心に、教育活動全体を通じて、それぞれの能力、特性の伸長を図り、自主性、自律性を育てるとともに道徳的実践力を育てることに努める。
- ④ 交流教育等の指導の充実を図り、障害を克服して社会に参加しようとする意欲、態度、習慣を育成するとともに、地域社会の人々に、障害者に対する正しい理解を広げること努める。
- ⑤ コミュニケーションに障害をもつ児童生徒に対し、その心情の理解と障害の改善に努める。

### (2) 進路指導

障害の重度、重複化の傾向が進み、進路指導は一層きめ

細かな対応が必要となっている。したがって、進路指導に当たっては、一人一人に自己の障害について正しく理解させるとともに、障害を克服して積極的に社会に参加する意欲、適応力を育てることを目的として、次の諸点に留意して努力するよう指導した。

- ① 一人一人の予想される進路を見通して、小・中・高各学部の連携を図り、一貫した指導体制を確立し、障害の特性や発達段階に応じた指導に努める。
- ② 障害に対する自己理解を深め、適切な進路設計ができるよう経験領域の拡大、自立能力や適応力の向上に努める。
- ③ 進路に関する情報・資料等を収集整理し、計画的な活用を努める。
- ④ 進路相談活動の充実・強化に努める。
- ⑤ 労働・福祉等の関係機関、家庭との連携を緊密にし、適切な進路の決定と進路開拓に努める。

## 7 特別活動

### (1) 卒業式

県立盲・聾・養護学校卒業生数

学部別	性別		計
	男	女	
幼稚園部	2	7	9
小学部	88	60	148
中学部	85	60	145
高等部	41	33	74
計	216	160	376

盲学校の専攻科は、高等部を含む

県立盲・聾・養護学校卒業式開催日（学部別）

学部別	月・日	3月1日(金)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	20日(水)	22日(金)	23日(土)
	幼稚園部							1		
小学部			1	2	4	3	2	2	1	1
中学部			1	2	3	3	3	2		
高等部	2				1	1				

### (2) 修学旅行

県立盲・聾・養護学校

学部別	行き先日数	行 き 先						日 数					人 数
		那須方面	日立方面	仙台方面	日光方面	東京方面	京都方面	日帰り	1泊2泊	2泊3泊	3泊4泊	4泊5日	
小学部	1	1	4		1			6	1				45
中学部	1		2	1	7			1	5	5			140
高等部							3				1	2	62
計	2	1	6	1	8	3	7	6	5	1	2	247	